

WHAT IS CLAIMED IS:

1. 下記 (a) または (b) の蛋白質。
 - (a) 配列番号 2 に示すアミノ酸配列を有する蛋白質。
 - (b) 配列番号 2 に示すアミノ酸配列において 1 もしくは数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列を有し、かつラブコネクチン 3 および GDP/GTP 交換反応促進蛋白質に結合する活性を有する蛋白質。
2. 配列番号 2 に示すアミノ酸配列を有する請求項 1 記載の蛋白質。
3. 請求項 1 または 2 記載の蛋白質をコードするポリヌクレオチド。
4. 配列番号 1 に示す塩基配列の塩基番号 1 ～ 4 4 7 0 の塩基配列を有する請求項 3 記載のポリヌクレオチド。
 5. 下記 (a) または (b) のポリヌクレオチド。
 - (a) 配列番号 1 に示す塩基配列の塩基番号 1 ～ 4 4 7 0 の塩基配列を有するポリヌクレオチド。
 - (b) 配列番号 1 に示す塩基配列の塩基番号 1 ～ 4 4 7 0 の塩基配列に相補的な塩基配列を有するポリヌクレオチドとストリンジェントな条件でハイブリダイズし、かつラブコネクチン 3 および GDP/GTP 交換反応促進蛋白質に結合する活性を有する蛋白質をコードするポリヌクレオチド。
6. 下記 (a) または (b) のポリヌクレオチド。
 - (a) 配列番号 1 に示す塩基配列の塩基番号 1 ～ 4 4 7 0 の塩基配列を有するポリヌクレオチド。
 - (b) 配列番号 1 に示す塩基配列の塩基番号 1 ～ 4 4 7 0 の塩基配列と相同性が 8 0 % 以上の塩基配列を有し、かつラブコネクチン 3 および GDP/GTP 交換反応促進蛋白質に結合する活性を有する蛋白質をコードするポリヌクレオチド。
7. 請求項 3 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドを含む組換えベクター。
8. 請求項 3 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドにより宿主を形質転換して得られる形質転換体。
9. 請求項 8 記載の形質転換体を培養し、該形質転換体が発現した、ラブコ

ネクチン 3 および GDP/GTP 交換反応促進蛋白質に結合する活性を有する蛋白質を培養物から採取することを含む、ラブコネクチン 3 および GDP/GTP 交換反応促進蛋白質に結合する活性を有する蛋白質の製造法。

10. 請求項 3～6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドを検出するための、請求項 3～6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドに相補的な少なくとも 15 ヌクレオチドを有するポリヌクレオチドからなるプローブまたはプライマーの使用。

11. 請求項 3～6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドに相補的な少なくとも 15 ヌクレオチドを有するポリヌクレオチドからなるプローブまたはプライマーを被検ポリヌクレオチドとハイブリダイズさせることを特徴とする請求項 3～6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドの解析方法。

12. 被検ポリヌクレオチドが被検組織または被検細胞中に存在することを特徴とする請求項 11 に記載の解析方法。

13. 請求項 3～6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドに相補的な少なくとも 15 ヌクレオチドを有するポリヌクレオチドからなるプローブまたはプライマーを被検ポリヌクレオチドとハイブリダイズさせることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の蛋白質をコードする遺伝子の解析方法。

14. 被検ポリヌクレオチドが被検組織または被検細胞中に存在することを特徴とする請求項 12 に記載の遺伝子解析方法。

15. 請求項 3～6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドに相補的な少なくとも 15 ヌクレオチドを有するポリヌクレオチドからなるプライマーを用いて、被検組織または被検細胞中の mRNA を RT-PCR 法によって増幅させ、請求項 3～6 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチドを測定することを特徴とする遺伝子解析方法。

16. 請求項 1 または 2 に記載の蛋白質をコードする mRNA にハイブリダイズするアンチセンスポリヌクレオチド。

17. 請求項 1 または 2 に記載の蛋白質をコードする mRNA を切断するリボザイム。

18. 請求項1または2に記載の蛋白質をコードするmRNAをRNA干渉により切断する二本鎖RNA。

19. 請求項1または2に記載の蛋白質に対する抗体。

20. 請求項19に記載の抗体を用いることを特徴とする請求項1または2に記載の蛋白質の免疫組織学的な解析方法。

21. 蛋白質の局在を解析する方法である請求項20記載の解析方法。

22. 蛋白質の発現量を解析する方法である請求項20記載の解析方法。

23. 請求項1または2に記載の蛋白質またはその異種相同蛋白質であるラブコネクチン3結合蛋白質と、ラブコネクチン3との結合を促進する物質または阻害する物質の候補物質のスクリーニング方法であって、ラブコネクチン3結合蛋白質と、ラブコネクチン3とを前記候補物質の存在下および非存在下で反応させ、前記結合を増加または減少させる前記候補物質を選択することを含む前記方法。

24. 請求項1または2に記載の蛋白質またはその異種相同蛋白質であるRab3 GDP/GTP交換反応促進蛋白質結合蛋白質と、Rab3 GDP/GTP交換反応促進蛋白質との結合を促進する物質または阻害する物質の候補物質のスクリーニング方法であって、Rab3 GDP/GTP交換反応促進蛋白質結合蛋白質とRab3 GDP/GTP交換反応促進蛋白質とを前記候補物質の存在下および非存在下で反応させ、前記結合を増加または減少させる前記候補物質を選択することを含む前記方法。